

※簡易版

# 水着専用脱水機

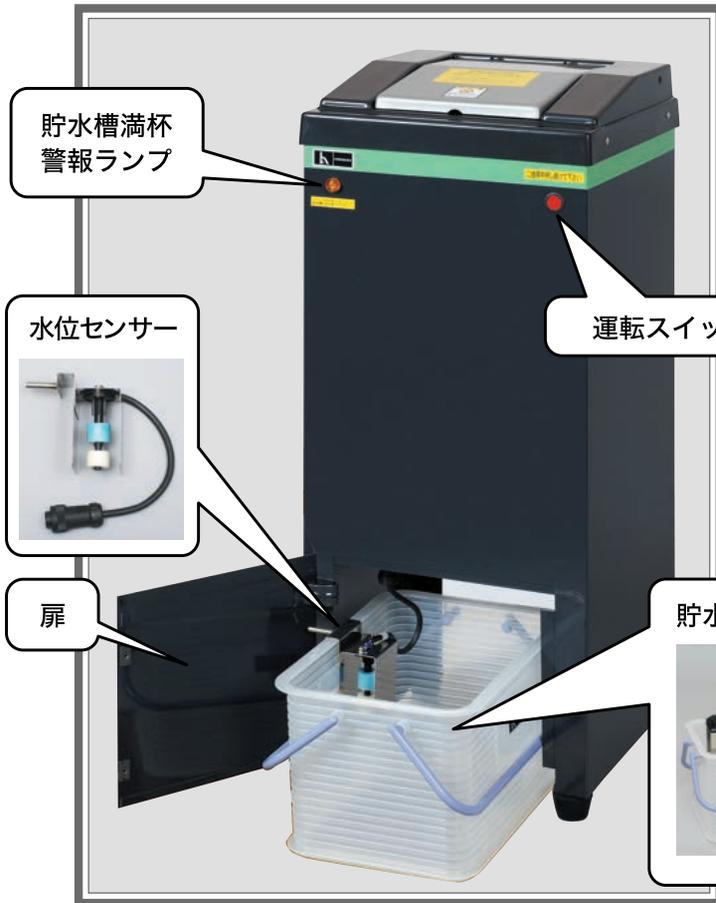
(HSD-2・6シリーズ)

取扱説明書  
及び  
管理上の注意

株式会社 **ハカブサ技研**

# 水着専用脱水機の各部名称

水着専用脱水機本体



開閉蓋開状態



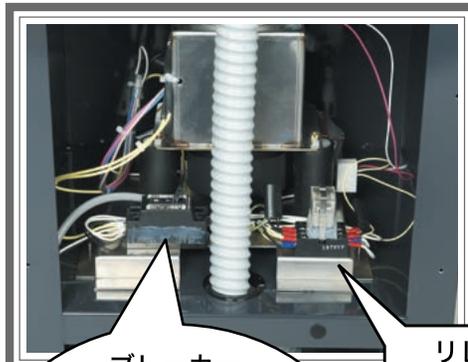
内フタ (円板)



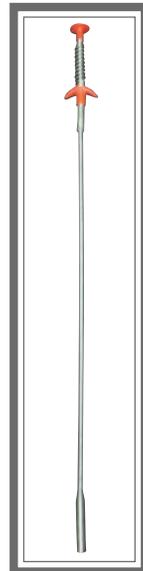
貯水槽 (オプション)



脱水機本体背面



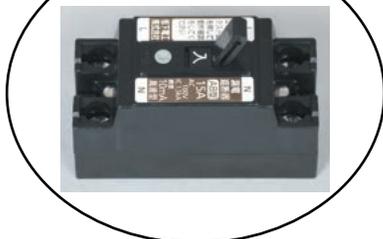
ピックアップツール (オプション)



脱水槽状態



ブレーカー

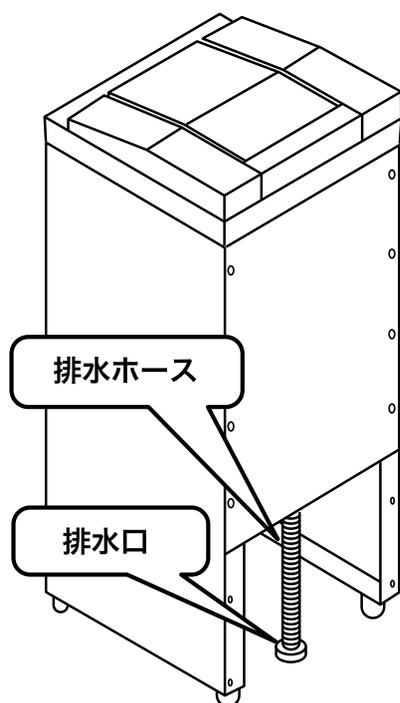


リレー



# 水着専用脱水機(HSD-2・6シリーズ)設置説明

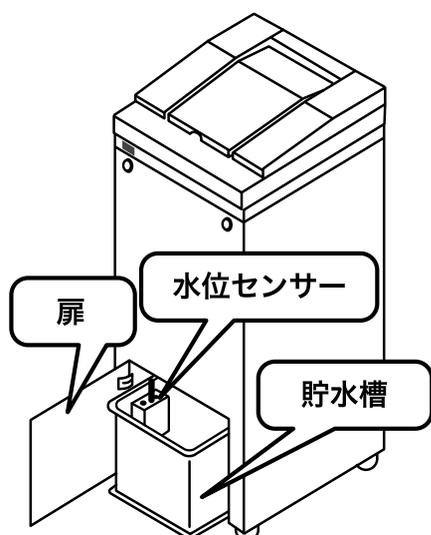
## A. 排水設備がある場合



### A. 排水設備がある所

1. 脱水機を排水口の上に水平になるように設置します。
2. 左図の様に、ホースを排水口の中に入れます。  
(ア)排水ホースが排水口から簡単に抜けられない様にしっかりと入れて下さい。  
(イ)排水口と排水ホースとの隙間にクリーンパッキンやパテ等で隙間を無くする事により、排水管の臭気やゴキブリ等を防ぐ事が出来ます。
3. 電源プラグ(3極アース付)を、AC100Vのコンセントに接続して下さい。
4. アース線(電源コードのアース付)を、コンセントのアース端子又は接地工事を施してある接地端子に接続して下さい。

## B. 貯水槽式の場合



### B. 貯水槽式の場合(貯水槽=オプション)

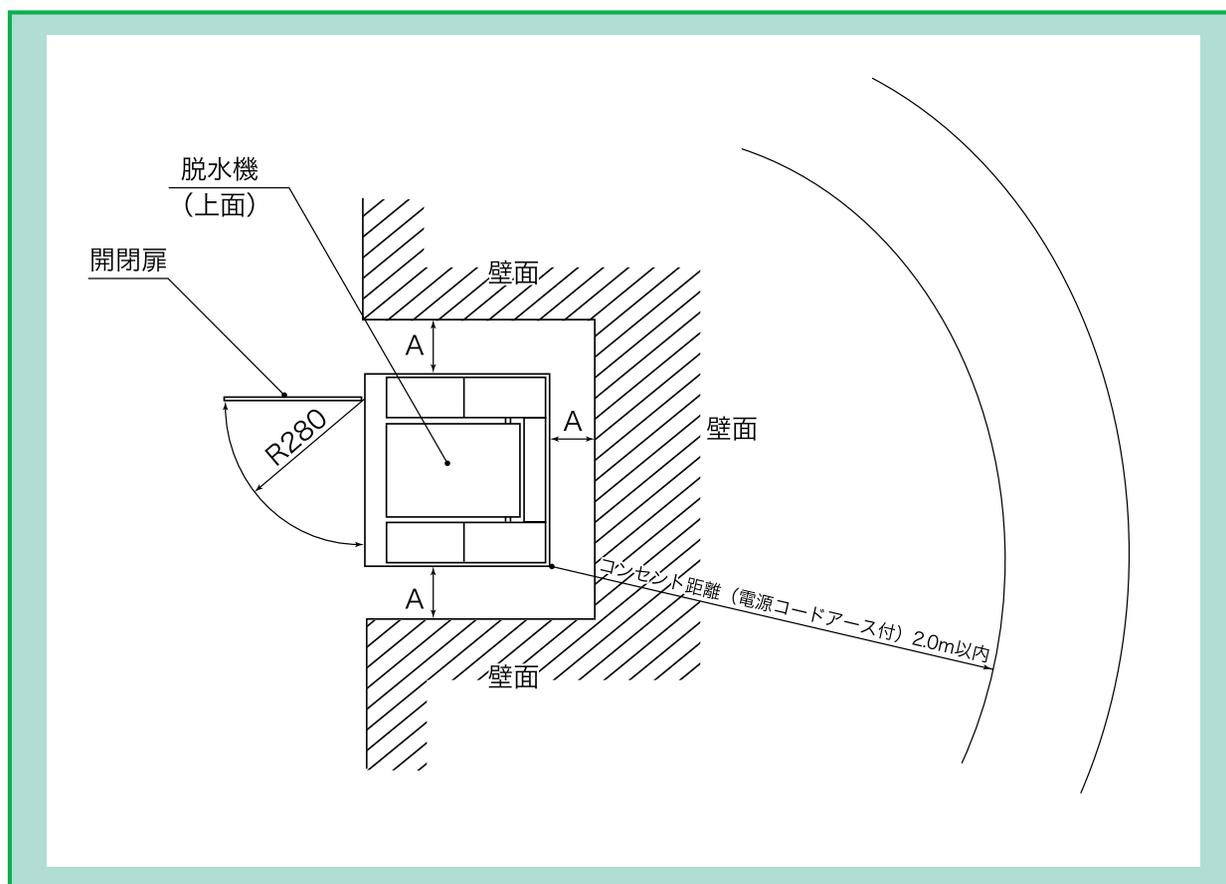
1. 脱水機を平らな所に、水平になるように設置します。
2. 左図の様に、貯水槽の縁枠に水位センサーを引掛けます。次に、水位センサーのコネクタプラグを、本体下部の扉の奥にあるコネクタに、ガイドに合わせて真直ぐに押し込んで取付けて下さい。  
(ア)貯水槽の水を捨てる時は、貯水槽から水位センサーを外して水を捨てて下さい。(コネクタプラグは抜かないで下さい。)  
(イ)本冊子の13ページ水位センサーの取り付け方をご参照下さい。
3. 貯水槽を本体の中に収め扉を閉めます。
4. 電源プラグ(3極アース付)を、AC100Vのコンセントに接続して下さい。
5. アース線(電源コードのアース付)を、コンセントのアース端子又は接地工事を施してある接地端子に接続して下さい。

## 水着専用脱水機(HSD-2・6シリーズ)設置距離

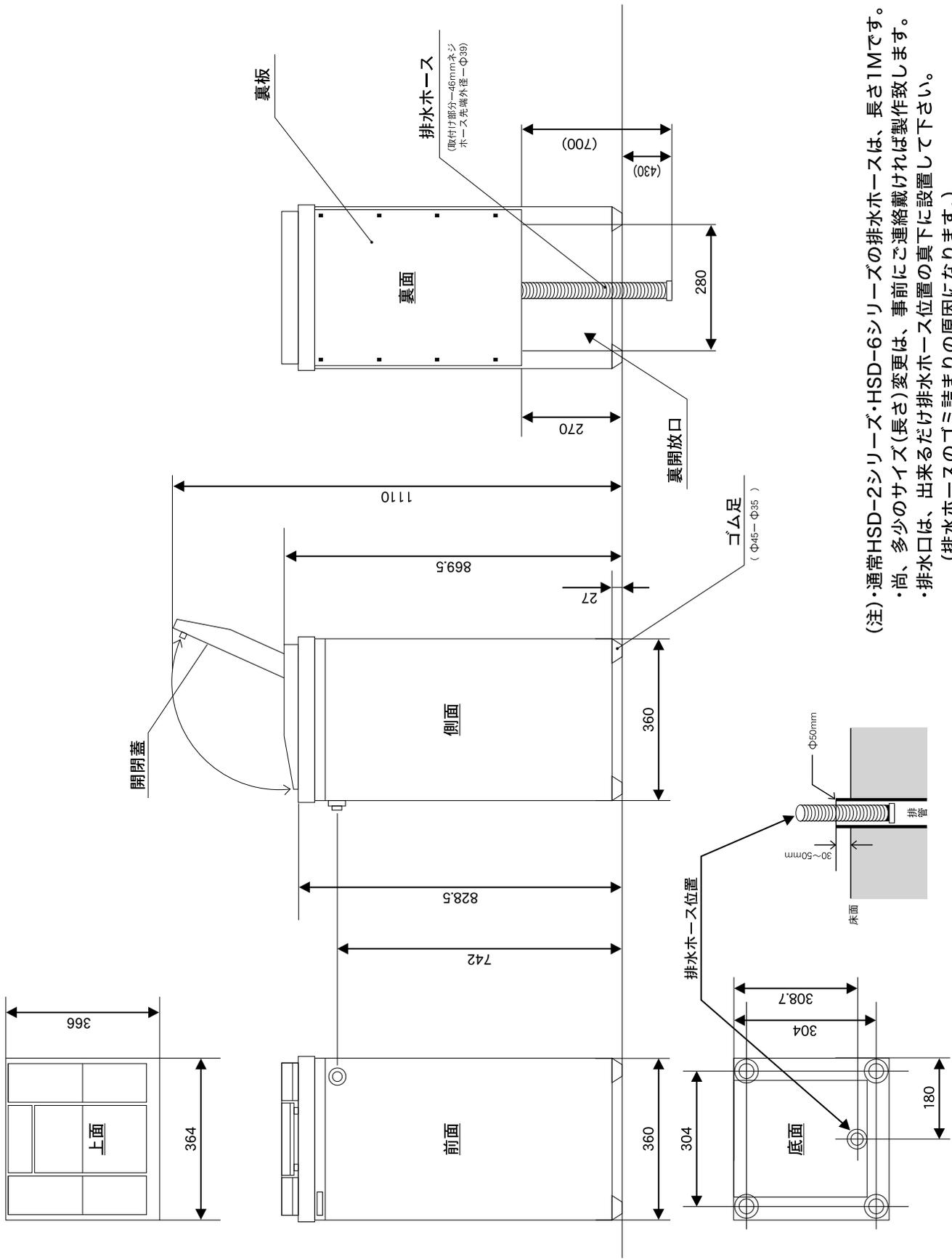
1. 脱水機と壁面間の距離(A)は、10cm以上空けて下さい。
2. 電源コード(3極アース付)はコンセントまでの距離を2m以内で設置して下さい。
3. 排水口の位置も前項の水着専用脱水機(HSD-2・6シリーズ)外形寸法図(P12)をご参照し、排水漏れの無い様配慮して下さい。

設置場所は下図の設置平面図をご参照下さい。

設置平面図:図番40219



# 水着専用脱水機 (HSD-2・6シリーズ) 外形寸法図



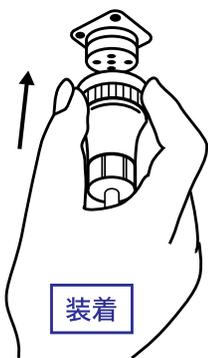
(注)・通常HSD-2シリーズ・HSD-6シリーズの排水ホースは、長さ1Mです。  
 ・尚、多少のサイズ(長さ)変更は、事前にご連絡戴ければ製作致します。  
 ・排水口は、出来るだけ排水ホース位置の真下に設置して下さい。  
 (排水ホースのゴミ詰まりの原因になります。)

## 水位センサーの取り付け方

1. 水位センサーのコネクタプラグを本体下部(向かって左手前)の扉の奥に有るコネクタにガイドを合せて真上に押し込んで取付けて下さい。  
(コネクタプラグの上部を手前に向けて真上に押し込みます。)
2. 水位センサーの金具を貯水槽(ポリタンク)に向かって左側の縁枠に引っ掛けます。(フロート部がタンク内部に入っているか確かめて下さい。)
3. ポリタンクを脱水機の奥に差し込みます。
4. 脱水機全面の扉をきちんと閉めます。

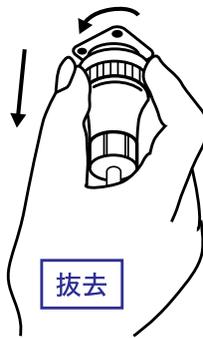
### 水位センサーの操作方法

#### (1) 装着方法

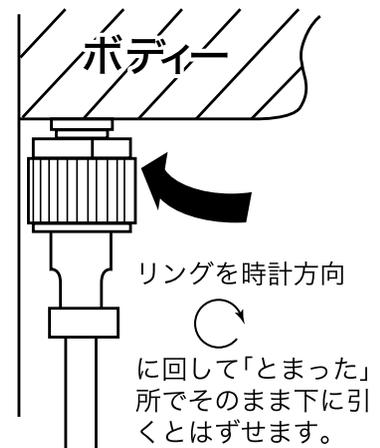


ガイドに合わせて真直に押し込んで下さい。

#### (2) 取りはずし方法



カップリングを右へ回しながら、下へ引いて下さい。



#### 水位センサー単体



#### 貯水槽へ水位センサー取付

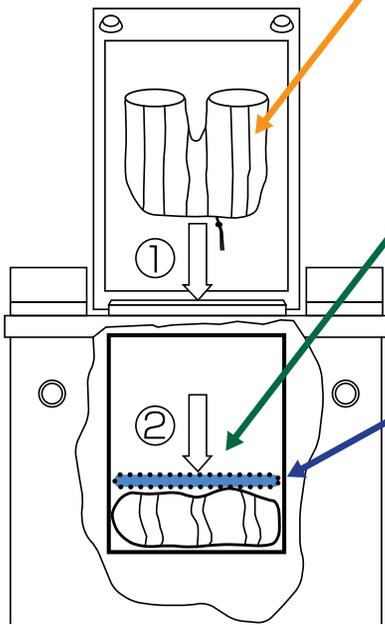


## 水着専用脱水機の使用法



1. 脱水機の開閉蓋を開けます。
2. 1回の脱水につき、水着1枚の脱水が出来ます。

(注意)水着以外の物はいれないで下さい。  
(スイムキャップ・タオル・Tシャツ・靴下など)。



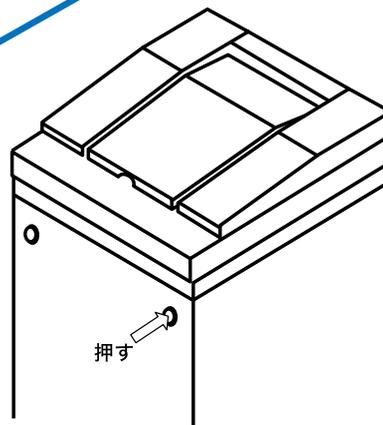
3. 脱水槽の中へ水着1枚を肩ヒモ等のヒモを下にして脱水槽の底まで入れます。

(注意)脱水槽から水着がはみ出さない様にストッパー(黒色)より下に、又パットは水着の内部に包み込む様にしっかりと入れて下さい。

4. 内フタ(円板)で水着を覆うように入れます。

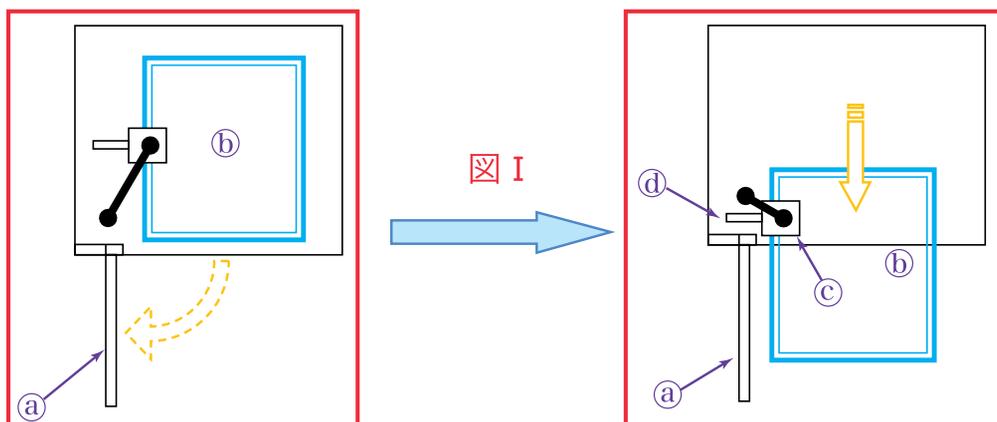


5. 脱水機の開閉蓋を閉じます。
6. 押しボタンスイッチを10~20秒間、軽く押しつけて下さい。
7. 脱水機の開閉蓋を開き、脱水槽が完全に停止している事を確認してから水着を取り出して下さい。



## 貯水槽の水を捨てる手順

1. 脱水機前面の扉を開け貯水槽(ポリタンク)を静かに手前に引き出します。
2. 脱水機前面から貯水槽を静かに引き出します。  
**図 I を参照:**この時、貯水槽左後部の縁に掛けてある水位センサーが**図 I**の位置に成るまで引き出します。(水位センサーのストッパーが本体左側の縁に当たるまで真直ぐに引き出して下さい。) **引き過ぎた場合はコードが切れる原因になりますので、十分注意して下さい。**
3. 水位センサーを縁枠から外します。  
 注) \*この時コネクタプラグは抜かないで下さい。  
 \*水位センサーを本体内部に置きます。
4. 脱水機前面の扉を閉めて下さい。  
 注) タンクの水を捨てる間も扉をきちんと閉め、事故の原因とならないようご注意ください。
5. 貯水槽(ポリタンク)の水を捨てて下さい。
6. 脱水機前面の扉を開け、貯水槽を脱水機手前に置き水位センサーを貯水槽に向かって左側の縁枠に引っ掛けます。  
 注) 本冊子13ページの「水位センサーの取り付け方」をお守り下さい。
7. ポリタンクを脱水機の奥に静かに押し込みます。
8. 脱水機前面の扉をきちんと閉めて下さい。



作業手順1の写真



作業手順3の写真



作業手順6の写真



## 不具合時の処置方法

下記の処置で正常な動作に復帰しない場合は、製造元の修理になります。

1. **トラブルフローチャートに準拠し各動作を確認する。**  
本体脱水機の背面に「貼付」して有ります。
2. **CASE No.1 スイッチを押しても動作(回転)しない。**
  - (1)スイッチを押したときにランプが点灯するか確認。
  - (2)漏電ブレーカがONで有るかOFFで有るかを確認。
  - (3)水位センサーの確認(満杯警報ランプの点灯を確認)。  
水位センサーをコネクターから取り外し、運転押ボタンスイッチを押して回転動作を確認する。
  - (4)回転不良  
脱水槽と本体内側の隙間に水着等が入っている場合、脱水槽の化粧リングをドライバー等でネジを外し、水着等を太めの針金等で除去する。(専用のピックアップツールをオプションとして用意しています。)
3. **CASE No.2 モータは回転するがスイッチ内のランプが点灯しない。**  
ランプ切れ⇒ランプ交換
4. **CASE No.3 脱水機本体に触れると電気を感じる(ビリビリする)。**
  - (1)アース接続の確認
  - (2)水位センサーを外した後、「ビリビリ」するか確認する。  
  
「ビリビリ」  
→ しない → 水位センサー不良(センサー修理)  
→ する → 本体の漏電(本体修理)
5. **CASE No.4 ランプが点灯していないのに貯水タンクから水が溢れ出る。**
  - (1)水位センサー不良 (断線しています。)
  - (2)水位センサー修理  
(定期的に水を捨てるようにすれば、水位センサーが無くてもご使用できます。その場合は水位センサーは必ず取り外して下さい。漏電、誤作動することが有ります。)
6. **CASE No.5 本体内の脱水カゴから水が溢れ出る。(排水不良)**
  - (1)脱水カゴ上部の本体にビス止めしてある化粧リングを外し、太めの針金等で中央排水口をふさいでいる、異物(内フタ、水着)を取り除いてください。
  - (2)排水ホースを外側先端から棒で突き上げ、中からゴミを取り除いてください。(専用のピックアップツールをオプションにて用意しています。)